学校番号	２１４

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	帝国書院「新地理総合」　（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・新科目「地理総合」は、世界の諸地域を地理的に考察することで、持続可能な社会を形成するための力を育むことを目標に作られました。 インターネットをはじめとして雑多な情報があふれかえる現代では、物事の本質を見極める力が求められます。新科目「地理総合」では、今世界で起こっていることを、多角的に捉え、批判的に考えるトレーニングをします。みなさんの物事の核心にせまる力を鍛えましょう。

　また、授業はみんなで一緒に作るものです。楽しい授業になるかどうかは、みんなの参加の仕方によります。発言や多様な活動を求めますので、積極的に参加することを期待します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力】地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり， 地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察・構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、知識・技能を身につけているか。	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、思考・判断・表現できているか。	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※受講者の理解度や興味関心に応じて、柔軟に変更する。

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	**第Ⅰ部　地図でとらえる現代世界**	①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 現代世界のさまざまな地理情報について，地図や地理情報システムなどを用いて，その情報を収集し，読み取り，まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 ②地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ③地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	a:日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に,地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について,地図や地理情報システムなどを用いて,その情報を収集し,読み取り,まとめる基礎的･基本的な技能を身に付けている。 b:地図や地理情報システムについて,位置や範囲,縮尺などに着目して,目的や用途,内容,適切な活用の仕方などを多面的･多角的に考察し,表現している。 c:地図や地理情報システムについて,よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究,解決しようとしている。	単元テスト	個人発表･レポート	単元テストや発表準備にむけた取り組みおよび、授業中の取り組み方

1 〜 2	**第Ⅱ部　国際理解と国際協力**	①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 ②現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現する。 ③現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	a 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きについて理解している。 b 現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 c 現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	単元テスト	個人発表・レポート	単元テストや発表準備にむけた取り組みおよび、授業中の取り組み方

3	**第Ⅲ部　持続可能な地域づくりと私たち**	①日本をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付ける。 ②地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ③自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	a:日本をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に,地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに,自然災害の規模や頻度,地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について,その情報を収集し,読み取り,まとめる地理的技能を身に付けている。 b:地域性を踏まえた防災について,自然及び社会的条件との関わり,地域の共通点や差異,持続可能な地域づくりなどに着目して,主題を設定し,自然災害への備えや対応などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c:自然環境と防災について,よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究,解決しようとしている。	単元テスト	個人発表･レポート	単元テストや発表準備にむけた取り組みおよび、授業中の取り組み方

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度